

改正・介護保険制度

介護保険

サービスの現状

認定者数の推移

阿久比町の認定者数は、平成十六年十月では五百五十七人で、平成十七年十月には五百七十人となり、十三人増加しています。何らかのサービスを利用している受給者数は、平成十六年十月で四百七十三人であったものが、平成十七年十月には五百四十三人となり、認定者数の増加に伴い増加傾向となっています。

表：認定者数の状況

対象月	高齢者数 (人)	認定者数 (人)	認定率 (%)	受給者数 (人)
平成16年10月	4,459	557	12.5	473
平成17年10月	4,699	570	12.1	543

要介護度割合

要介護度別人数は、平成十六年十月と平成十七年十月の認定者割合の推移をみると、要支援から要介護5までの認定者割合は認定者数の増加に伴い増加傾向にあります。

表：要介護度別人数

対象月	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成 16年10月	45人	124人	81人	79人	65人	85人
平成 17年10月	82人	154人	81人	84人	73人	96人

費用の割合などについて

介護保険事業の利用人数は、平成十六年十月は四百七十九人、平成十七年十月には四百八十九人と十人増加しています。在宅と施設の内訳で見ると、在宅サービス利用者が平成十六年十月で七五・二パーセントだったものが、

平成十七年十月では七六・五パーセントと増加しています。

介護保険サービスを利用することでかかる費用の割合は、在宅費用では平成十六年十月で五三・二パーセント、平成十七年十月では五七・七パーセントと増加しています。

一人当たりの在宅費用は、平成十六年十月に十一万六千九百八円だったものが、平成十七年十月では十三万三千九百九円となり一万六千百一円増加しています。

一人当たりの施設費用についても、平成十六年十月に三十一万千八百八十五円だったものが平成十七年十月では三十一万六千五百六十五円となり五千三百八十円増加しています。

表：在宅、施設サービスにおける利用人数と構成比の推移

対象月	区分	在宅	施設	合計	
		利用人数(人)	構成比(%)	利用人数(人)	構成比(%)
平成16年10月	利用人数(人)	360	119	479	
	構成比(%)	75.2	24.8	100.0	
平成17年10月	利用人数(人)	374	115	489	
	構成比(%)	76.5	23.5	100.0	

表：在宅施設サービスにおける費用の状況

	費用の割合(%)		1人当たりの費用額(円)	
	在宅	施設	在宅	施設
平成16年10月	53.2	46.8	116,908	311,185
平成17年10月	57.7	42.3	133,019	316,565

施設サービス利用者について

介護保険施設入所者は、平成十六年十月には、介護老人福祉施設(特養)で六十五人、介護老人保健施設(老健)で五十人、介護療養型医療施設(療養型)で四人の方が入所していました。

重度率(施設入所者全体に対する要介護度3～5までの人の割合)をみると、平成十六年十月で八九・一パーセントだったものが平成十七年十月では八七・八パーセントとなり、重度率は減少しています。

表：施設サービス利用者数の推移

		要支援	要介護 1・2	要介護 3～5	合計
		平成16年10月	介護老人福祉施設(特養)	0	7
	介護老人保健施設(老健)	0	6	44	50
	介護療養型医療施設(療養型)	0	0	4	4
	合計	0	13	106	119
	構成比(%)	0	10.9	89.1	100.0
平成17年10月	介護老人福祉施設(特養)	0	6	58	64
	介護老人保健施設(老健)	0	8	38	46
	介護療養型医療施設(療養型)	0	0	5	5
	合計	0	14	101	115
	構成比(%)	0	12.2	87.8	100.0